

夏の感染症にご注意を！

保健福祉課
☎ 47・8007

夏はウイルス性の感染症が流行する季節です。7月に入り、ヘルパンギーナが流行しています。また、手足口病、咽頭結膜熱などが流行することがあります。次のことに注意して楽しい夏をすごしましょう。

ヘルパンギーナ

夏に多く見られるウイルス性の感染症で、乳幼児の間で流行する病気です。

現在、県内でも患者数が増加傾向にあり注意が必要です。

■どんな症状？

高い熱と、のどの奥に小さな水ぶくれができ強いのだの痛みがあります。痛みは数日で自然に治まりますが、その間のどが痛い、飲み物・食べ物がとれないことがあります。刺激の少ない軟らかい食べ物をとるようにしましょう。また、麦茶やミルク、白湯などは刺激も少なく飲むことができますので水分不足には十分注意しましょう。

■予防方法は？

よく手を洗うことが大切です。症状が回復した後も2～4週間程度はウイルスが排出されることがあるので、おしめを替えたときには特に注意が必要です。

咽頭結膜熱（プール熱）

咽頭結膜熱（プール熱）は、暑くなるこれからの時期、7月～8月をピークに、幼児から児童を中心に見られる急性ウイルス性感染症です。名前のとおり、プールの水を介して感染することがあります。

■どんな症状？

ウイルスが原因で、38℃～39℃の発熱のほか、のだの痛み、また眼症状として結膜炎などが見られます。乳幼児では、下痢や嘔吐を伴うことがあります。潜伏期間は5～7日間です。

■予防方法は？

感染者との接触をさげ、手洗いやうがいをするのが有効です。

プールで泳ぐときは、泳ぐ前と後に手洗いをしっかり行い、うがい、シャワーの使用、洗眼などきちんとしてください。また、風邪気味のときは無理をせず休んでください。

手足口病

名前のとおり、口腔粘膜および手足の末端に水疱性の発疹ができるのが特徴で、乳幼児を中心に急慢性ウイルス感染症のひとつです。特にこれからの時期注意が必要です。

■どんな症状？

口腔粘膜や手足に2～5mm程度の水疱が見られる他、軽度の発熱がある場合があり、潜伏期間はおよそ3～5日間です。またまれに、髄膜炎や脳炎を起こす場合があります。元気がない、頭痛、嘔吐を伴う、高熱が出るなどの症状が出た場合、慎重な対応が必要です。医師の診断を受けてください。

■予防方法は？

患者もその周囲の人もよく手を洗うことが大切です。症状が回復した後も2～4週間程度はウイルスが排出されることがあるので、おしめを替えたときには特に注意が必要です。

◆ 感染症情報 ◆ (7月9日～15日)

疾病名・患者数 ()内は調査対象当たりの人数	流行の状況
ヘルパンギーナ 230人 (10.45人)	★★★★
感染性胃腸炎 151人 (6.86人)	★★
伝染性紅斑 30人 (1.36人)	★★★★
水痘 29人 (1.32人)	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 22人 (1.00人)	★★
手足口病 18人 (0.82人)	★

★★★★…たいへん流行しています

★★★…流行しています

★★…平年並みの発生数

★…平年より少ない発生数

※患者数は、県内の調査対象医療機関で把握した人数の合計です。
<http://kansens.erc.pref.fukui.jp/>



南条子育て支援センターだより

■お問合せ 南条子育て支援センター Tel 47-2411

8月の保育所開放日

- 8日(水) わらべの里保育園 (小麦粉粘土で遊ぼう)
- 23日(木) 南条第二保育所 (自由に遊びましょう) 河野保育所 (劇「こわくないよ」を一緒にみましよう)
- 28日(火) 今庄保育所 (水遊びをしましょう)
- 31日(金) 南条保育所 (人形劇をみましよう)

〈子育て支援開設場所の変更とお盆のおしらせ〉

13日(月)～17日(金)および31日(金)の子育て支援センターは、ほやほやひろば(南条保育所)で開設します。

8月15日(水)・16日(木)の2日間は、南条子育て支援センターはお休みします。

空のペットボトルを利用して風鈴を作りました

ペットボトルをリサイクルで風鈴づくり

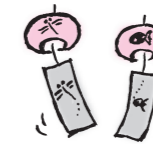
市販されている風鈴のような“チリンチリン”と、涼しい音色は聞かれません、素朴な手作り風鈴に心が和みます。

<材料>

- ・ペットボトル(大きさや形はどんな物でもOK)
- ・ポスターカラー(油性マジックなど)
- ・飾り(紙・ビーズ・ストローなど)・タコ糸

<作り方>

- ・ペットボトルを適当な大きさに切り、切り口をライター等で焼く。
- ・ペットボトルにポスターカラーなどで絵を描き、ビーズ等で飾り付けをして出来上がりです。



こころの健康ボランティア講座

「こころの健康、こころの病気について学習してみたい」
「こころの病気を抱えながらがんばっている人について理解したい」
「将来ボランティアとして活動してみたい」など

このような人を対象に講座を開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。

- ・開講式・講義 9月6日(木) 13:30～15:30
- ・講義・活動発表 9月13日(木) 13:30～15:30
- ・ふれあい交流 9月20日(木)・21日(金)の半日間
- ・グループワーク、閉講式 9月27日(木) 13:30～15:30

申込み 8月20日(月)までに電話で申込んでください。
※4回で1コースです。受講料は無料です。

■開催会場・申込み

越前市文京 2-13-39
丹南健康福祉センター武生福祉保健部 Tel 22-4135

花火遊びは、迷惑にならないように

マナーを守って楽しみましよう ■日本煙火協会

昨今、深夜の花火遊びや後かたづけをしないなど、花火による周辺住民等への迷惑問題が深刻化しています。特に昨年は、花火遊びの迷惑行為に端を発した、周辺住民による傷害事件などが発生しました。これらの事件やマナー違反の増加に伴い、公園や海岸等で“深夜の花火禁止”などとする場所もできています。

【毎年、楽しく花火をするために】

- ・音の出る花火は、人の迷惑にならない場所と時間を選びましょう。
- ・高く上がって音のする花火は、マンションなどに飛び込んで破裂し驚かせ、ケガをした例があります。飛翔するものは、飛ぶ方向と音に気を付けましょう。
- ・風向きを考え煙で迷惑にならないようにしましょう。
- ・夏は窓を開けている家も多いので、煙が侵入しないように風向きに気を付けましょう。